

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算      支出科目    款：商工費    項：観光費    目：観光開発費

### 事業名    新「新・岐阜の宝もの」プロジェクト推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 観光国際局 観光企画課 観光資源係    電話番号：058-272-1111 (内 3058)

E-mail：[c11334@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11334@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費                    3,602 千円 (前年度予算額：                    0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	3,602	0	0	0	0	0	0	0	3,602
決定額	2,300	0	0	0	0	0	0	0	2,300

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

全国に通用する観光資源になるものとして、県が認定する「岐阜の宝もの」等の関係者に対して、「with コロナ」社会の観光のあり方として注目されている「持続可能な観光 (サステイナブル・ツーリズム)」について啓発を行い、価値を高める取り組みにつなげる。

併せて、新たな「岐阜の宝もの」等の認定に向けた調査を実施し、適するものがある場合は認定する。

### (2) 事業内容

- ① 「持続可能な観光」講演会 (1,581 千円)
- ② 「新・岐阜の宝もの」認定委員会開催 (728 千円)
- ③ 「新・岐阜の宝もの」PR (1,293 千円)

### (3) 県負担・補助率の考え方

県が実施する飛騨・美濃じまん運動の一環として「岐阜の宝もの」を認定するものであり、県負担は妥当。

#### (4) 類似事業の有無

無

### 3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	619	・講演会講師謝金 ・「岐阜の宝もの」認定委員謝金
旅費	669	・講演会講師旅費 ・「岐阜の宝もの」認定委員旅費 ・「岐阜の宝もの」認定候補現地調査
需用費	13	事務用品費、コピー代
役務費	14	電話代、郵送料
委託料	2,066	・講演会開催 ・WEB ページ作成、広告掲載
使用料	221	認定委員会会議室
合計	3,602	

#### 決定額の考え方

PRについては既定経費で対応することとし、計上を見送ります

### 4 参考事項

#### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県長期構想

Ⅱ ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

3 地域の魅力を高め、観光交流を拡大し、消費を増やす  
(地域の魅力を高めるために)

#### (2) 国・他県の状況

「岐阜の宝もの」は岐阜県独自の事業である。

#### (3) 後年度の財政負担

新型コロナウイルスの影響による緊急支援事業のため、単年度事業である。

#### (4) 事業主体及びその妥当性

県が実施する飛騨・美濃じまん運動の一環として「岐阜の宝もの」を認定するものであり、妥当。

事業評価調書（県単独補助金除く）

■ 新規要求事業

□ 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

魅力的な観光資源である「岐阜の宝もの」を核として周辺の観光資源と組み合わせることで、一つのエリアで複数泊（連泊）が楽しめるようにし、これらを周遊することで、本県の高品質かつ本物の魅力が満喫できる宿泊滞在型観光を定番化する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
観光消費額	億円 (H - )	2,819億円 (H29)	2,822億円 (H30)	2,933億円 (R1)	3,300億円 (R7)	88.9%
観光入込客数（実数）	万人 (H - )	4,556万人 (H29)	4,603万人 (H30)	4,800万人 (R1)	4,900万人 (R7)	98.0%
外国人延べ宿泊者数	万人 (H - )	98万人 (H29)	148万人 (H30)	166万人 (R1)	180万人 (R7)	92.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い      △：必要性が低い</li> </ul>	
(評価)  ○	「with コロナ」社会の観光のあり方として「持続可能な観光」が注目を集めおり、それに向けた取り組みが求められる。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない</li> </ul>	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている      △：向上の余地がある</li> </ul>	
(評価)  ○	「持続可能な観光」が求められてはいるものの、こういったものであるかは十分に浸透しているとは言い難く、周知が必要である。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 「持続可能な観光」であることの具体的な県の基準の策定。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

認定した「岐阜の宝もの」を活用し、岐阜の「持続可能な観光」をPRしていく。
---------------------------------------

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由や期待する効果 など	【○○課】